

# 福島との絆 ヒマワリ大輪 糸満摩文仁

【糸満】沖縄戦と東日本大震災を記憶にとどめようと「東北復興支援・ヒマワリ畑」(主催・県平和祈念財団)の開園式が10日、糸満市摩文仁の平和祈念公園北口にある子ども広場駐車場で行われた。式典で犠牲者に黙とうをささげた後、園児が大輪の花の周囲を歩いて楽しんだ。31日まで。入場無料。

催しは福島と沖縄でヒマワリを育て、収穫した種を交互に植え付けることで両地の絆を強くしようと2011年度に浦添市で初めて植え付けられた。15年度からは同公園で行っている。

県平和祈念財団の仲田秀光副会長は「震災では大きな津波が東北を襲い、復興の途中にある。忘れないようにしよう」とあいさつ。福島県人会の木村貞夫会長(74)は「原発事故の影響で福島にはまだ帰還困難区域がある。皆さんに楽しんでもらうことは復興の手助けになる」と語った。(南部報道部・又吉健次)



東北復興支援のヒマワリ畑で、散策を楽しむ園児ら=10日、糸満市摩文仁・県平和祈念公園 (名護大輝撮影)

10月27日 係り係り